

ビルマ研修生の

歓迎会を開く

東海支部

七月二十三日夕、テレビ塔西の会場リビエールには支部会員二十六名が顔を揃え、なお、ラングーン日本人学校の先生として赴任しておられこの春帰国された小松博一さんもお出でになり、それぞれ閑談を交している中に、研修生五名が、すでに領事館の会員にあづけない笑顔を見せながら来場。たちまち会員の歓談の中へとけ込んで来た。いつもながら街らわず、節らず、兎しまない無垢の態度はすぐに会員も好感をもつてしまつた。そしてこれら研修生の年令を聞くに及んで驚いた。

すなわち

チー・チー・アウン
(名大理学) 女二十九才
ウ・ニ・ン・トン・帰國
エイ・ティン
(造船技術) 男二九才
タウン・ティ
(自動車技術) 男三四才
それぞれチー・チー・アウン・エイ・ティンを除いて二・三人の子持ちである。

いうまでもなく精神年令は抜群に若い、和氣溢れるムードの中で、小菅信一氏の挨拶、石村卓氏の温情味のある送迎のことば、記念品の贈呈、チー・チー・アウンさんの波々と飾らない答辭、とか

会場リビエールには支部会員二十六名が顔を揃え、なお、ラングーン日本人学校の先生として赴任しておられこの春帰国された小松博一さんもお出でになり、それぞれ閑談を交している中に、研修生五名が、すでに領事館の会員にあづけない笑顔を見せながら来場。たちまち会員の歓談の中へとけ込んで来た。いつもながら街らわず、節らず、兎しまない無垢の態度はすぐに会員も好感をもつてしまつた。そしてこれら研修生の年令を聞くに及んで驚いた。

くお座なりなこうしたへ
に、これはまたなんと楽し
氣だろう。会員の目が若い
のエリーにあたたかく注
まるで自分の子を見守っているよ
うだ。彼らはよく食べ、飲み、会
員の片言のビルマ語に片言の日本
語で答え、実際にこやかだ。ビル
マを愛するわれわれの気持がスト
レートに彼等を通じていくのだろう。

（言語、風俗、習慣のちがう異國

に、しかも自國より文明度の高い
國にあって、きびしい勉学に明け
暮れる彼等をこうして遇すること
は本当に意義のあることであり、
たのしいことだ。契約した会場の
時間は知らない間に過ぎてしま
い、研修生の一人、一人は会員の
人達の手を握り心から喜んで帰つ
て行つた。

われわれが普段している色々な
会合にくらべると、質素で簡単な
会であつたが、充実した親和感は
なものにもくらべようのない、
あたたかいものに思われた。東海
支部の研修生、留学生を問む、こ
うした集いは機会あることに行わ
れて彼らとの交流を深めている。

親切なビルマ人

大阪外大助教授 原田正春

昭和四十九年一月六日羽田発
一月十八日帰国（十三日間）

一、会費
金三十二万円也（タイ・シンガ
ポール・香港の観光を含む）
一、締切
昭和四十八年九月末日
但し定員に達し次第締切ますか
一、申込先と問合せ先
名古屋市昭和区白金三丁目十九
号二十番
平四六六

電話〇五二八八一五五一七
小菅信一
（吉岡記）

特別寄附者ご芳名

左の方々より寄附がありまし
た、茲に厚くお礼申上げます。

石塚寿男
加島安太郎
第一回訪団
常務理事会
(S 47.7.1 分末報告)

五十、〇〇〇
六、〇〇〇
四、〇〇〇
五〇、〇〇〇

五十、〇〇〇
六、〇〇〇
二、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一、〇〇〇

五十、〇〇〇
六、〇〇〇
一〇、〇〇〇
九〇〇
四六〇

神谷豊
大桶修義
浅田昌作
原谷力
宮谷華作
稻原作
馬場新平
大倉義市
加島安太郎
第一回訪団
常務理事会
(S 47.7.1 分末報告)

五十、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一、〇〇〇

近年、世界の観光客が多数ビル
マを訪れるようになつて、ビルマ
政府は各地に、いくつかのホテル
を急造した。ひと昔なら、ビルマ
にはホテルも旅館もなかつた。ど
こへ行つても現地人が気安く宿や
食事を提供し、寺院やザヤットとい
う適当な休息所があつたからであ
る。私がビルマに到着して、しば
らくホテル住いをしていたら、友
人が、なぜ自分の家に泊らないの
かと、たいへん怒つて呟つた。マ
ンダレーへ行つたときも同様で、
気持は理解するが少々よわつた。
なお、ビルマの市町村各地で、通
行人や旅行者のための飲料用の水
瓶が用意され据付けられ、そして
人々も安心して飲んでいる光景を
見掛けができるであろう。

人を家に泊めることをさほどに
迷惑がないから、居候組が増え
る。ことに屋敷も家も大きく、且
つ経済的にいくらか余裕のある家
庭では、たいへんである。私がた
びたび招かれて大体わかつたこと
は、いずれも二〇人から三十人の
大世帯である。親類紹介者、使用人、
運転手、またその家族らで満員の
盛況であった。

血縁関係者、無因縁者、老若男
女を含む、この多大な世帯で、よ
くおさまっているものだと感心させられた。都市の場合、住宅事情
も悪いのである。「寄らば大樹

のもと」にもよるだろ。ビルマ語にはまた Tet Kyi Yw Lun Ein Dagun (老人は家の先祖) とする格言があり、老人をたいせつにしている。若い人たちなら同じ屋根の下、好きな人もできると
いうものだが、結構まるくおさま
つているようだ。

「ここで一つの作品を思い出し
た。「シユエ娘の恋人」という作品
である。

シユエ娘はある役所に勤めてい
た。同じ役所の二人の男性が、彼
女に恋をする。兩人とも教育はあ
るが、Aは醜美とした美男子、B
はそれほどではないが、Aよりは
人間的に勝つているようだった。
彼女は永い間迷いつづける。
彼女はその悩みを詩に纏り、あ
ることないことを小説ふうに書い
てみた。その文章の一部分が役所
内で発見され(後日雑誌に発表さ
れる)、問題となる。

彼女はその悩みを詩に纏り、あ
ることないことを小説ふうに書い
てみた。その文章の一部分が役所
内で発見され(後日雑誌に発表さ
れる)、問題となる。

文章の内容によると、女性(彼
女自身)が身籠つた。役所内の誰
かと関係はしているが、彼女は告
白しかねた。そのため首になるか
も知れない。そんなわけでBはA
が怪しいと詰問すると、反対にお
まえどうと難解し、大乱闘とな
る。

Bはシユエ娘の「態度は決めら
れない」という解答を拒否と受け
とり、自分としては実の妹のよう
に見守つていただきたい、そう彼女に
伝えると共に自分も割切つた。
Bの「妹のように」とするのは

(この本は著者が第十六兵站衛生隊附軍医として防疫業務を担当し、ビルマ各地を少人数にて単独行動した時に体験した。ビルマの気候、風土、人情、風俗等をよく記憶しておられたなどと程よい山、然も私の知らない事などを明確に軽いタッチで記述されたり、読み乍ら当時の私が身を思ひ出し、尚各所に挿入されている著者自画の風物画を通して現地を偲び、又後半記述の敗戦の生々しい体験はよくぞ生きのびてこられた、ご苦労様でしたの一言につきます。(読了感・小谷)

一協会の原動力、会費を完納しよう

皆様御承知のとおり日総文化協会の基礎は何と言つても「資金」が第一です。

この為本年の第一目標を「会員増強」に置いた訳ですが、切角増加した会員でも会費の納入がなければ何の価値もないと思ひます。

「日総のためにやりたいことは沢山あります。」然し何をしようとしても「予算がない」という私達会計担当者は、本当に辛い立場にあります。

千天に慈雨を待つが如く、「会ヒ」や「寄付金」の御恵付を会計は鶴首待望して居ります。どうぞよろしく御協力をお願ひ申上ます。

八月十五日現在会ヒ未納者は次

まあ憶えておられたなどと程よい山、然も私の知らない事などを明確に軽いタッチで記述されたり、読み乍ら当時の私が身を思ひ出し、尚各所に挿入されている著者自画の風物画を通して現地を偲び、又後半記述の敗戦の生々しい体験はよくぞ生きのびてこられた、ご苦労様でしたの一言につきます。(読了感・小谷)

二、昭和四十八年度分未納者三十名

尚当協会の年度は「毎年九月一日より翌年八月三十一日まで」となっていますから、特に御留意下さい。又四月一日から年度末までの間に入会された方は、その年度の会費は「半額一八〇〇円」で、入会時「協会バッヂ代五〇〇円」を併せて納入して戴くことになりますから念のため申添えます。

(会計担当理事 梅原保)

ビルマ人のナツ

信仰について

服部正一

世紀前二〇〇〇年頃、pataliputraにて敬虔なアシヨカ王によつて仏教會議が開催された後、イラワチ及びサルウイーン両河の河口に、ペグーとタトンの古代王国が存在していた。

謂わゆる金地國 suvanna bli-

umiとして知られていた下ビルマに仏教が伝えられて行つた。しかし、一八八五年までビルマにおいては、ペグーとタトンの古代王国はまだ明確に定められていない

この為本年の第一目標を「会員増強」に置いた訳ですが、切角増加した会員でも会費の納入がなければ何の価値もないと思ひます。

「日総のためにやりたいことは沢山あります。」然し何をしようとしても「予算がない」という私達会計担当者は、本当に辛い立場にあります。

千天に慈雨を待つが如く、「会ヒ」や「寄付金」の御恵付を会計は鶴首待望して居ります。どうぞよろしく御協力をお願ひ申上ます。

八月十五日現在会ヒ未納者は次

同時に我々是非常に不思議な見信することができないような現象を見る。それは Repudiatory 即ち精靈崇拜がビルマにおいてはどうの国よりも下層階級の人々の間に強く根ざしていることである。精靈崇拜は仏教伝来以前よりすでにビルマ人の古い信仰として残つて来たものである。事実、ビルマ人を取扱んでいる未開種族であるチニン、カチン、カレン等の諸民族は自然の中に存在する精靈の原始的信仰以外に他の宗教をもつてゐない。そして精靈の力が彼らより、より文化された隣民族の間に残り存しているこの不思議な信仰の中にはつきり感ぜられる。

ビルマでは精靈は Nat という名で呼ばれている。Nat の語源はまだ明確に定められていないが、二つの異なる意味によつて解釈されている。その一つは Dewah 即ちインドの伝説に現われる六つの下位の梵天界の住民の意味で用いられる。第二の意味は全く別であつて、それは水、空気、林森、家等、即ち生物無生物によって仏教が国家的な宗教として樹立された。セトロンが除外されなくとも、ビルマほど純粹な仏教を意味するものである。例えれば、第一の意味に用いられる Nat は

次の表現の中に見出される。昔、国王が最後の息を引きとる時、ビルマ語では「Nat ywa san dew min di」(王はナツの國に向つて旅立れた)と云つた。しかし、生のとおりありますので、該当の方には納入用紙同封いたしますか、折返し御入金下さい。

一、昭和四十七年度分未納者六名

僧院長はその国に於ては英國のカンベリー僧正にも匹敵するものであり、宗教上最高位の僧侶である。

僧院長はその国に於ては英國のカンベリー僧正にも匹敵するものであり、宗教上最高位の僧侶である。

を保存している国は世界どの国に於てこの表現の中に見出される。昔、国王が最後の息を引きとる時、ビルマ語では「Nat ywa san dew min di」(王はナツの國に向つて旅立れた)と云つた。しかし、生のとおりありますので、該当の方には納入用紙同封いたしますか、折返し御入金下さい。

二、昭和四十八年度分未納者三十名

尚當協会の年度は「毎年九月一日より翌年八月三十一日まで」となっていますから、特に御留意下さい。又四月一日から年度末までの間に入会された方は、その年度の会費は「半額一八〇〇円」で、入会時「協会バッヂ代五〇〇円」を併せて納入して戴くことになりますから念のため申添えます。

(会計担当理事 梅原保)